

食の農学科群

サツマイモの収穫！

1年生の「総合実習」では、野菜・果樹・食品加工・基礎実験の4分野をローテーションで学習します。「野菜」の実習では、季節野菜の基本的な栽培管理について広く学んでいます。秋野菜では、ダイコンやサツマイモの播種や収穫を行いました。今年は、適度なサイズ感のサツマイモを多く収穫することができました。安納芋、紅はるか、シルクスイート、パープルスイートロード、鳴門金時5品種の特徴の違いについて学習しました。



“地域とともに58年”
岐阜県立恵那農業高等学校
 ENA AGRICULTURAL HIGH SCHOOL

めぐりえんす

2024
 AUTUMN&WINTER
 ダイジェスト版
 第14号



花と緑の農学科群

「木フック作り」

1年生の総合実習は、草花栽培・草花活用・森林保全・身近な環境の4分野に分かれて実習をしています。写真は木フックと名付けた小物掛け作りをしている様子です。実験林で間伐されたヒノキの樹皮をはずし、枝はフックになるような長さで切り落とします。自然によって生み出された枝の配置を見ながら、自分だけの小物掛けになるように、幹を切り土台に付けます。オリジナルな木フックの完成を目指します。



生産科学科

スマイルカフェいさなおうちとの共同商品開発！



果樹の授業の一環で糖度が少ないナシを使って商品開発ができないかと、多治見にある「スマイルカフェいさなおうち」と共同商品開発を行いました。今年で4年目となりますが、今年第一弾に「忠犬ナシ公のコンポート」、第二弾に「アザナシちゃんのほわほわ善哉（ぜんざい）」、そして第三弾として「ヒヨコちゃんの風呂ペアーフロート」の商品開発しました。実際に商品を試食し、店長さんと意見交換会を行いました。食品ロスを減らすこともでき、SDGsの観点からも地球にやさしい取り組みができました。

食品科学科

みかんジャムづくり



3年食品科学科の総合実習でみかんジャムづくりを行っています。ジャム製造の中で最も大切な工程である「煮詰め」では、煮詰めによって生じる熱い水蒸気にも負けず、ジャムが焦げつかないように長時間丁寧にこくはんします。生徒がひとつひとつ真心を込めて作ったジャムは学校の直売所「彩広場」で販売されています。パンに塗っても、ヨーグルトにかけても美味しく食べることができますので、ぜひお買い求めください。

環境科学科

実験林間伐実習



3年生の実習は少人数の専攻班に分かれて学習に取り組んでいます。写真は実験林の管理に取り組む専攻班が、実験林内のヒノキを間伐している様子です。3年生は夏休みにチェーンソーを安全に使えるよう講習を受けました。伐倒した後は、材として使えるように枝を切り落とし、自然乾燥を経て後輩の実習の材料にも使っています。

園芸科学科

花と緑の連携授業



岐阜県立国際園芸アカデミーへ出かけて、フラワーアレンジメントの指導を受けました。特にブーケ製作では、より高度な技術を身に付けることで進路選択を考える一助となりました。

文化祭

秋の2日間、文化祭は全クラスが熱のこもった演目を披露しました。今年のテーマは「Nou Real」。生徒独自の脚本が多く、熱演に笑いあり涙あり、充実した時間となりました。



2年生 沖縄修学旅行

「沖縄は10月がベストシーズン」の言葉通り、天候に恵まれた4日間だった。初日の平和学習では、沖縄の悲惨な戦争の事実を再認識し、平和のありがたさを実感した。2日目以降は沖縄の青い海や珍しい地元料理など自然・文化を十分に堪能することができた。



岐阜県農業高校生海外実習

県内各農業高校からの代表がアメリカ・ブラジル・オランダの3か国へ研修に行きました。本校からは2名参加しました。研修を通してもの見方や考え方を劇的に変化した研修となりました。

【2年生産科学科 遠山幸之助】

私は虫と植物の関係に興味があり、各国の現状を知ることができました。また、今回の研修を通して、何事もとりあえず挑戦してみるかというチャレンジの気持ちが身につきました。

【2年園芸科学科 西尾 夏海】

写真や動画でしか見ることのできない海外の農業を実際に見て、触れることができ、これからの日本の農業の可能性を考えるきっかけとなりました。



進路指導部

「1年生職種別進路ガイダンス」

「就職する際どんな職種が選択できるのか」「やりたい仕事に就く方法は」など、恵那市内で働く方々から仕事について聞いて考えるためのガイダンスを実施しました。当日は20事業所31名が来校されました。1年生は初めて就職について具体的に考える機会でしたが、自分が希望する職種の話真剣な表情で聞く姿が印象的でした。

